

スマートシティ時代の交通結節点等のあり方検討調査

自動運転が普及した将来の駅前広場の姿について、現状課題の洗い出し、必要なソリューションの抽出を行ったうえで、具体化。

参画主体：国土交通省、日建設計総合研究所、日建設計

将来像のイメージ図

10のソリューション

- 人**
 - ① 分かりやすく円滑な移動経路の提供
 - ② 容易に入手可能で分かりやすい情報の提供
 - ③ ワンストップでシームレスな移動サービスの提供
 - ④ 抵抗感の少ないユニバーサルな移動環境の提供
- コハム空間**
 - ⑤ 多様な人・活動があふれる広場空間の創出
 - ⑥ 交通結節点と周辺市街地の一体的な整備の推進
 - ⑦ 災害時の拠点としての防災機能の提供
- 乗り場**
 - ⑧ ダイナミックかつ柔軟な空間利用
 - ⑨ 交通コントロールを通じたトラフィックのスマート化
 - ⑩ 柔軟で効率的な利用が可能なカーブサイドマネジメント

